

とうもろこしの  
生育期に使用できます！

# ブルキマ フロアブル

®は登録商標



## 特長

- 殺草スペクトラムは一年生イネ科雑草、および一年生広葉雑草と幅広い草種に優れた効果を発揮します。
- 問題雑草の“イチビ”や“イヌホオズキ”にも優れた効果を示します。
- 雑草の色素生成過程を強く阻害するので、処理された雑草は白化したのち枯死します。
- 飼料用とうもろこし、およびとうもろこしの生育期に雑草茎葉処理ができます。

一年生イネ科雑草



メヒシバ



イヌビエ

一年生広葉雑草



イチビ



イヌホオズキ

\*生育期：とうもろこし 3～5葉期(40～50mℓ/10a)、6～7葉期(50～75mℓ/10a)



石原バイオサイエンス株式会社

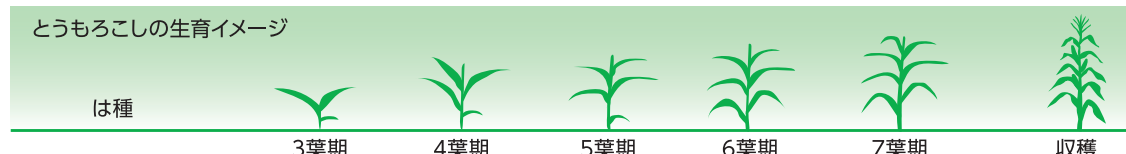


## 登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤およびトルピラレートを含む農薬の総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
とうもろこし	一年生雑草	とうもろこし3~5葉期 但し、収穫45日前まで	40~50mℓ	100ℓ	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布
		とうもろこし6~7葉期 但し、収穫45日前まで	50~75mℓ	100~150ℓ		
とうもろこし3~5葉期 但し、収穫45日前まで		40~50mℓ	通常散布 50~100ℓ 少量散布 25~ 50ℓ			
とうもろこし6~7葉期 但し、収穫45日前まで		50~75mℓ	100~150ℓ			
飼料用 とうもろこし		とうもろこし3~7葉期 但し、収穫45日前まで	50mℓ	0.8~3.2ℓ		無人航空機 による散布

## 上手な使い方

とうもろこしの生育イメージ



は種 → 3葉期 → 4葉期 → 5葉期 → 6葉期 → 7葉期 → 収穫

土壌処理剤

〔推奨薬量と推奨使用時期〕  
**ブルーシアフロアブル**  
 (50mℓ / 10a)

雑草発生が多い圃場や低温で雑草が  
 だらだら発生する圃場では土壌処理剤  
 との体系処理をオススメします。

- ポップコーンには薬害の懸念があるため使用を控えてください。
- 多年性雑草には十分な効果がありませんので、これらが優占する圃場では使用しないください。
- 雑草が大きくなりすぎると防除効果が低下しますので、早めの散布を心がけてください。
- 土壌処理剤との体系処理によりとうもろこし栽培後半期の雑草発生量を低く抑えることが出来ます。

## 殺草スペクトラム

雑草種別	イネ科		ヒユ科		キク科			タデ科		スベリヒユ科	ヒルガオ科	アカザ科	ナス科	ツユクサ科	アオイ科	ナデシコ科		アブラナ科	カヤツリグサ科							
	メシバ	オヒシバ	アキノエノコロクサ	イヌビエ	ホンアオゲイトウ	アオビユ	オオブタクサ	ブタクサ	ハキダメギク	オナモミ	ノボロギク	オオイヌタデ	イヌタデ	タニソバ	スベリヒユ	アサガオ類	シロザ	イヌホオズキ	ツユクサ	イチビ	コハコベ	オオツメクサ	ツメクサ	ナズナ	スカシタゴボウ	カヤツリグサ
適用雑草	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	×	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△

◎: 効果極大、○: 効果大、△: 効果小 (草丈が大きくなると効果低下)、×: 効果なし  
 ▶2012~2014年日植調委託試験、および石原産業(株)中央研究所社内試験データより  
 ※薬量50mℓ/10aの場合、草丈20cm以下で◎となります。

### 効果・薬害等の注意事項

- ・使用の直前に、容器をよく振ってください。
- ・少量散布 (25~50ℓ) の場合は、専用ノズルを使用してください。
- ・散布後、一時的にクロロシス症状を生じることがありますが、その後の生育、収量には影響しません。
- ・散布薬液の飛散によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布してください。
- ・雑草生育期に有効であるが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣ることがあるので、時期を失しないように散布してください。
- ・雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないよう均一に散布してください。
- ・散布後6時間以内の降雨は効果を低下させるので、天候に注意してください。
- ・使用后、タンク、ホース、ブーム、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意してください。
- ・無人航空機による散布に当たっては、次の注意事項を守ってください。
  1. 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
  2. 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  3. 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  4. 散布薬液の飛散によって薬害を生じるおそれがあるので他の動植物、特に周辺作物に影響を与えないよう、散布区域の選定、散布区域の諸物件、風向き及び風速等気象状況の変化に十分留意してください。
  5. 散布予定のほ場周辺にとうもろこし以外の作物が栽培されている場合は、薬害を生じるおそれがあるので、無人航空機による本剤の散布は行わないでください。

### 安全使用上の注意事項

- ・眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ・皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。
- ・散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- ・作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ・かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。  
 洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は2023年5月時点での知見に基づいて作成しています。